

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	物流・産業		25年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 計画担当課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化		成果	コスト		
事務事業名	金城ふ頭における完成自動車輸送機能の集約・拠点化事業				連絡先	052-654-7911
目的	対象(誰・何を)	大型船による完成自動車輸送機能			事業期間	平成26年度～
	意図(どうい う状態にしたいか)	金城ふ頭に集約・拠点化し、荷役の効率化を図ります。				
概要	自動車専用船の大型化に対応し、完成自動車輸送機能の集約・拠点化を図るため、金城ふ頭において既存岸壁の改良及び水深12mの新たな岸壁、泊地、荷さばき地を計画し、整備していきます。				根拠法令等	港湾法第3条の3
26年度の実施予定	名古屋港港湾計画の一部変更(案)の作成 10月 名古屋港審議会 11月 交通政策審議会 12月 計画概要の公示				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した内容・結果	港湾計画一部変更案を作成し、平成26年10月に名古屋港審議会の答申を得、その後国土交通大臣に計画を提出、11月に交通政策審議会に諮問され、12月には名古屋港管理組合公報において計画の概要を公示しました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(26年度～)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	-	-	188	188	
人件費	千円	-	-	15,178	15,178	
合計	千円	-	-	15,366	15,366	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
新規岸壁整備(-12m)等の事業進捗(全7工程) (進行管理型)	目標			1		4	金城ふ頭1・2突間の埋立を伴う新規岸壁整備等の事業進捗工程 (①港湾計画の変更、②事業採択、③環境アセス、④埋立免許、⑤埋立護岸整備・岸壁整備、⑥泊地整備、⑦ふ頭用地整備)	
	実績			1				
(進行管理型) 事業進捗状況(26年度)		○順調 やや遅れ・遅れ						
指標名		24年度	25年度	26年度	最終	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
85号岸壁(-12m)改良の事業進捗(全4工程) (進行管理型)	目標			1		4	金城ふ頭85号岸壁の改良事業の事業進捗工程。 (①港湾計画の変更、②事業採択、③岸壁改良、④泊地整備)	
	実績			1				
(進行管理型) 事業進捗状況(26年度)		○順調 やや遅れ・遅れ						
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	目標達成に向けた指標の工程①である港湾計画の一部変更が完了し、順調に進捗しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	港湾管理者として、名古屋港における完成自動車輸送の効率化を行い、基幹産業の国際競争力の維持・強化を図っていく必要があります。						
	○							
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	○	金城ふ頭における完成自動車輸送の効率化は、上位施策の「国際・国内海上輸送機能の強化」に資すると考えています。						
	○							
効率性 最小のコストとなっているか?	○	最小のコストで事務を行いました。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	拡大	拡大	・背後地のものづくり産業の国際競争力強化に向けて、完成自動車取扱機能の強化、拡充を早急を図るべく、重点化するため。
	資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
課題		27年度以降の取組	
近年、自動車専用船の大型化が急速に進展しており、また、入港隻数の増加も見込まれているため、早期に完成・供用させる必要があります。		整備に必要な予算を要求及び金城ふ頭1・2突間の埋立免許取得に必要な環境アセスメント調査を進めていきます。	